

## 令和元年における木質粒状燃料（木質ペレット）の生産量等について

令和2年8月31日  
林野庁

林野庁は、「特用林産物生産統計調査」により、令和元年の木質粒状燃料（木質ペレット）の生産量等を取りまとめたところ、令和元年における木質ペレットの生産量は14.7万トンとなりました。

### 1.当調査の概要について

林野庁は、毎年、「特用林産物生産統計調査」により、特用林産物の生産量等について調査を行い、その生産動向等について公表しております。今回は、そのうち、「木質粒状燃料（木質ペレット）」の生産量等について公表するものです。

### 2.木質粒状燃料（木質ペレット）の生産動向について

令和元年における木質粒状燃料（木質ペレット）の生産量は前年から1.6万トン増加の14.7万トン（対前年比112.1%）となりました。

一方で工場数は147工場で、前年から7工場の減少となりました。

生産された木質ペレットを用途別に見ると、燃料用としての生産がほとんどを占め、14.2万トン（構成比96.7%）となりました。

また、原料入手別に見ると丸太・林地残材からの生産が6.3万トン（構成比43.0%）、製材工場等残材からの生産が5.9万トン（構成比40.3%）、建設発生木材が2.4万トン（構成比16.4%）となりました。

丸太・林地残材から生産されたものの樹種別で見ると、スギが3.8万トン（構成比60.2%）、マツが1.9万トン（構成比29.4%）、ヒノキが0.5万トン（構成比8.1%）となりました。

詳細は添付資料を御覧ください。

<添付資料>

[別添1 木質粒状燃料の用途別生産量内訳等\(PDF：95KB\)](#)

[別添2 木質粒状燃料の原料入手区分別生産量及び含水率\(PDF：122KB\)](#)

[別添3 丸太・林地残材から生産した樹種別生産量\(PDF：125KB\)](#)

[参考資料\(PDF：89KB\)](#)